

# 伊野-INO-

～小さなまちの大きな魅力～

伊野コミュニティセンター 〒691-0072 島根県出雲市野郷町492-5

TEL: (0853)69-1526

FAX: (0853)69-1530

メールアドレス: [ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp](mailto:ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp)

コミセンホームページ



## 卒業おめでとう!!!



一伊野地区の人口一  
(R2.2月末現在)  
男性… 600人  
女性… 660人  
合計…1,260人  
世帯数…415世帯

3月19日、伊野小6年生8名が伊野小学校を卒業されました。新型コロナウイルス感染拡大が懸念されるなか、幸い島根県内では感染者がなく、伊野小学校では来賓および地域住民の皆さんの参列はなくなったものの、在校生・教職員・保護者に見送られながら卒業生たちは6年間過ごした学び舎をあとにしました。4月からはいよいよ中学生。伊野小で過ごした6年間の思い出を胸に、先生方・地域の方・家族への感謝の気持ちを忘れずに中学校でも頑張ってください。



# わくわくひろば 2/9

参加者38名

## 「わくわくバンドがやってきた！」

今回は平成7年から活動しておられるわくわくバンドさんをお迎えしました。一緒に大きな声で歌を歌ったり、手遊びをしたりしました。いろんな〇〇マンに変身する歌では、お父さんたちが大活躍！くねくね動くくねくねマンなどに変身して子どもたちと一緒に楽しく踊りました。寒い冬の日でしたが、楽しい音楽と子どもたちの笑顔と笑い声でわくわくひろばは温かい空気に包まれました。



【プログラム】 絵本の読み聞かせ・エプロンシアター・アレ何だぁ！？（当てっこゲーム）・わくわくバンド公演

## 高齢者交通安全講習会 12/19

参加者54名



出雲警察署の森係長をお招きし、高齢者を対象に交通安全講習会を行いました。交通ルールや動体視力について、巧みな腹話術と手品を交えて楽しくわかりやすく教えていただきました。また、来場者には懐中電灯をプレゼント。日暮れが早まるなか、夜道は明るい服装に心掛け、反射たすきや懐中電灯を携行し、事故に合わないよう皆さん安全意識を高められたようです。

## 野菜づくり講習会 2/19

参加者31名

南目農園の南目章徳氏を講師にお招きし、春夏野菜を上手につくるコツを教えてくださいました。野菜も花も最初の泥づくりが肝心だそうです。畑は水はけを良くし、植える作物に合わせて土壌を酸性やアルカリ性等に調整することが大事だそうです。そして、植えるときは高畝、浅植え、マルチが基本。これを守れば誰でも上手に野菜が作れるそうです。出雲弁で時折笑いも交えながらの講習会はあっという間でした。収穫が楽しみです。





# 人権同和研修会

1/21

参加者32名

圓通寺住職である景山大圓氏を講師にお招きし、お寺を取り巻く人権について講演いただきました。住職は妙心寺本部で人権担当もなさっており、年に複数回勉強会に参加しておられ、その知識と経験を活かし私たちに身近な人権・差別の問題から、お寺の問題までわかりやすく講和いただきました。お寺特有の問題としては修行道場での食事の食い上げや警策を打つことが体罰と捉えられたり、お茶やお酌をするのは女性でないといけないという偏見があるというお話もありました。しかし位階については差別ではなく区別であるということでした。今回お寺をテーマに人権について学ぶよい機会となりました。



# 阿宮地区視察団来館

3/5

伊野地区の女性団体の活動状況を知りたいと、阿宮コミセンの職員さんと阿宮地区の女性を中心に合わせて13名の皆さんが伊野コミセンに視察に来られました。伊野地区からはふれあいサロンの代表者や伊野いち、



ちよんぼし伊野いち等で活躍する女性の皆さん9名にご参加いただき、互いのサロンや団体での活動の様子について意見交換を行いました。また、伊野いち女性チームの皆さんより、ぼてぼて茶と漬物で手厚いおもてなしがあり、阿宮地区の皆さんは大変喜んでくださいました。地区の活性化にはこうした女性のパワーは必須です。このような機会をいただき、我々伊野地区の参加者も明日からのより一層の活力につながりました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

# 青パト隊一斉パトロール

12/18

毎日小学生の下校時刻に合わせて巡回して下さっている青パト隊の皆さん。いつもは曜日ごとに各々で回っておられますが、この度複数の隊員で年末一斉パトロールを行いました。いつも地域の防犯にご尽力いただき、ありがとうございます。



## 伊野ふるさと探訪 Part 18

### じょでいいし 「如泥石」

伊野灘の山里波下の湖岸にあります。この石は波をよけるためのもので来待石を丸く加工して積み重ねるようにしたものです。昔は穴道湖湖岸一帯にありましたが、湖北ではこの地以外では見られなくなりました。松平7代藩主治郷（号不昧）さん時代の如泥さんが考案したと伝えられています。

(郷土誌研究会 常松士郎氏)



# 伊野の将来ビジョンの作成について

現在、住民参加による「10年後の伊野将来ビジョン」が完成しつつあります。このビジョンは、伊野で暮らしている老若男女70人が自分たちで考え、本音で語り合い、一人ひとりの意見を大切にして作ったものです。また、毎年伊野小学校やコミセンで講演していただいている山崎亮さんを始め、多数の皆様にご協力をいただきました。

4月には完成品をお届けできる予定です。皆様、どうぞご期待ください。



## 令和2年度 伊野地区の主な行事予定

- 町内対抗バレーボール大会 6月21日(日)
- 伊野地区戦没者慰霊祭 9月13日(日)
- 地区民体育大会 9月27日(日)
- 伊野地区敬老会 10月11日(日)
- 雲州ひらた体育祭 10月18日(日)
- 伊野地区文化祭・いのはやおちらと駅伝 11月8日(日)
- 平田地区対抗駅伝 11月22日(日)



※現時点での予定です。変更になる場合もあります。



## 表彰 池尻文雄さん (西灘)

昨年9月「全日本写真連盟支部対抗戦2019」が開催され、フォト雲州支部(島根県本部)が「風景・ネチャー部門 最優秀支部賞」を受賞されました。この中には池尻文雄さんの作品「鯉の季節」もありました。この作品には津和野町での代掻きと鯉のぼりをテーマに島根ののどかな様子が捉えられています。池尻さん、受賞おめでとうございます。



## 4月から新事業が始まります!! (コミセン自主企画事業)

### 伊野郷土誌を読む会(総務部主催)

毎月第2木曜日 9:30~11:30 コミセンにて 申込・参加費不要  
どなたでもご来場いただけます。我がふるさと伊野の歴史について一緒に学びましょう。

### こみカフェ(健康福祉部主催)

毎月第4金曜日 9:30~12:00 コミセンにて 参加費100円  
どなたでもご来場いただけます。お茶を飲みながらおしゃべりしましょう。

## 編集後記

今年度も皆様のご協力によりコミュニティセンターの活動も滞りなく終了しました。新型コロナウイルスの影響により当地区での事業も中止になったものが多々あり、様々な影響が出ました。日々の当たり前の生活がいかに有難いことか、改めて実感いたします。各自ができることを今は実践し、また今まで通りの生活が送れることを望んで過ごしたいですね。

来年度も変わらず皆様のご支援・ご協力を賜りますよう職員一同お願い申し上げます。